

2025年12月16日

各位

SBIホールディングス株式会社

ベトナムの InsurTech スタートアップである Saladin Consulting and Technology Pte. Ltd へのシリーズ A ラウンドにおける出資に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、当社グループが運営するSBI-NTU（エヌティーユー）・Kyobo（キョウボ） Digital Innovation Fund（所在地：シンガポール、以下「本ファンド」）を通じて、ベトナムのInsurTech（保険×テクノロジー）スタートアップであるSaladin Consulting and Technology Pte. Ltd（本社：シンガポール、創業者兼CEO：Vivien Vân Lê、以下「Saladin社」）のシリーズAラウンドにおいて、リード投資家として出資を行いましたので、お知らせいたします。本ラウンドには、Monk's Hill Ventures、Peak XV Partners、ICMG Venturesなどの既存および新規投資家も参加しています。

Saladin社は2022年に設立された、ベトナムをリードするInsurTech企業であり、マルチチャネル保険流通プラットフォームを提供しています。同社の運営するプラットフォームでは、パートナー企業による決済、旅行、ヘルスケアサービスに合わせてカスタマイズした組み込み型保険を提供しております。現在までにベトナムの主要保険会社15社と提携し、同社のプラットフォームを通じて顧客にサービスを提供しています。また、同社の展開する保険代理店向けアプリである「Saladin Pro」には15,000人以上が登録しており、研修や金融リテラシーへの支援を大幅に拡大する計画です。

今回のシリーズAによる調達資金を活用し、Saladin社は従来オフラインでのコンサルティングが必要とされていた分野へ、損害保険商品以外の取り扱い拡大を目指します。具体的には、オンライン流通向けに設計した定期保険や包括的な医療保険などの生命保険商品を導入する計画です。この計画には、市販の保険商品に加えて、顧客向けにカスタマイズされた保険商品も含まれています。さらに、最新のAI技術を活用して生産性を向上し、個人に合わせてサービスを最適化させ、保険金請求からサービス業務に至るまで、一貫した信頼性の高い顧客体験を強化いたします。

ベトナムの保険市場は、規制変更などのマクロ経済的な課題に直面してきましたが、現在は驚異的な回復力を見せており、変革期を迎えています。こうした市場の変化は、InsurTechの採用を促進すると予想されています。Saladin社は、顧客、保険会社、代理店を中心に据えたプラットフォーム設計と、テクノロジーの活用により、この成長する市場において重要な役割を果たすことが期待されています。

◆SBI-NTU-Kyobo Digital Innovation Fundについて

本ファンドは、2022年シンガポールにて組成され、東南アジアと南アジアにて、デジタル技術およびデジタルプラットフォーム関連分野のアーリーステージ企業に投資いたします。また、本ファンドは当社グループが、シンガポールの南洋理工大学の産学連携を加速する子会社であるNTUitive（本社：シンガポール、代表取締役社長：David Toh）、韓国の教保（キョウボ）生命グループ傘下の証券会社である教保証券株式会社（本社：ソウル市、共同代表取締役社長：Bong-kwon Park、Seok-ki Lee）と共に設立いたしました。各社が培ってきた事業運営に関する知見や、地域に根ざしたエコシステムを活用し、東南アジアおよび南アジアにおける次世代のデジタル分野の先駆者や国際的な競争力を持つアーリーステージのスタートアップを支援することを目的としております。尚、本ファンドは当社の子会社であるSBI Ven Capital Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：宗英一郎）が運用しております。

◆SBI グループについて

1999年創業のSBIグループは、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとして、証券、銀行、保険分野を中心にインターネットを通じてより低価格で利便性の高い商品やサービスを提供する金融サービス事業を運営しているほか、資産運用事業、PE投資事業、暗号資産事業、次世代事業をグローバルに展開するインターネット総合金融グループです。

投資事業においては、米国のRipple社やR3社など世界的に有名なDLT（分散型台帳技術）に関連した企業への投資実績を持つほか、2025年9月末時点で1兆143億円の投資残高を保有し、アジアの金融およびテクノロジー業界のベンチャー企業の成長と成功を支援してきた実績があります。子会社であるSBI Ven Capitalは、シンガポール金融当局（Monetary Authority of Singapore）より認可を受けた資産管理会社として、2007年の設立以降、主に東南アジアや南アジアの企業への投資を実施し、2025年9月末現在で3.53億米ドル*の資産を運用しております。

◆教保生命グループについて

教保生命グループは1958年創業の韓国有数の生命保険グループであり、同グループの中核企業である教保生命保険は、韓国最大級の保険会社の1つです。グループ傘下の教保証券は2002年より韓国取引所のKOSPI市場に上場しています。

SBIグループは2007年より教保生命保険と提携関係にあり、2025年4月には同社の株式を追加取得することを決議いたしました。これにより同社はSBIグループの持分法適用関連会社となる予定で、今後さらなる関係強化を図ります。

*MASが2025年7月2日に公表した新しいガイドラインに沿い、2025年9月末から計算方法を変更しております。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126